

2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年11月8日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表取締役社長 山下 正弘



- 2013年3月期第2四半期 連結決算の概況
- 主要製品及び後発医薬品の動向
- 研究開発パイプラインの状況
- 新たな生産体制の構築とヘルスケア事業について
- 2013年3月期 連結業績予想と配当

2013年3月期 第2四半期
連結決算の概況

2013年3月期 第2四半期 連結決算の概観

単位:億円	12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
売上高	464	480	+16	3.4%増	+3
営業利益	49	63	+14	27.9%増	+7
経常利益	53	66	+13	25.8%増	+6
四半期純利益	34	43	+9	28.0%増	+4

セグメントの売上高の増減(連結)

単位:億円		12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減	
売上高 合計		464	480	+16	3.4%増	+3	
		452	470	+18	4.2%増	+5	
医薬品事業	新医薬品	391	397	+6	1.5%増	-3	
		国内	381	387	+6	1.4%増	-3
		海外	10	10	0	5.6%増	0
	後発医薬品		41	51	+10	23.4%増	+5
	一般用医薬品他		20	23	+3	17.0%増	+5
ヘルスケア(スキンケア)		12	9	-3	25.3%減	-3	

《差異のポイント》

	対前年増減	対予想増減	増減のポイント
国内新医薬品	+6	-3	【対前年】主要製品が伸長 【対予想】ムコダイン等の売上が予想から減少
後発医薬品	+10	+5	・後発品の使用促進策の影響で、卸店ルート(保険調剤薬局)の売上が増加 ・受託生産による売上が増加
一般用医薬品他	+3	+5	・殺菌消毒剤「ミルトン」、その他の売上が増加

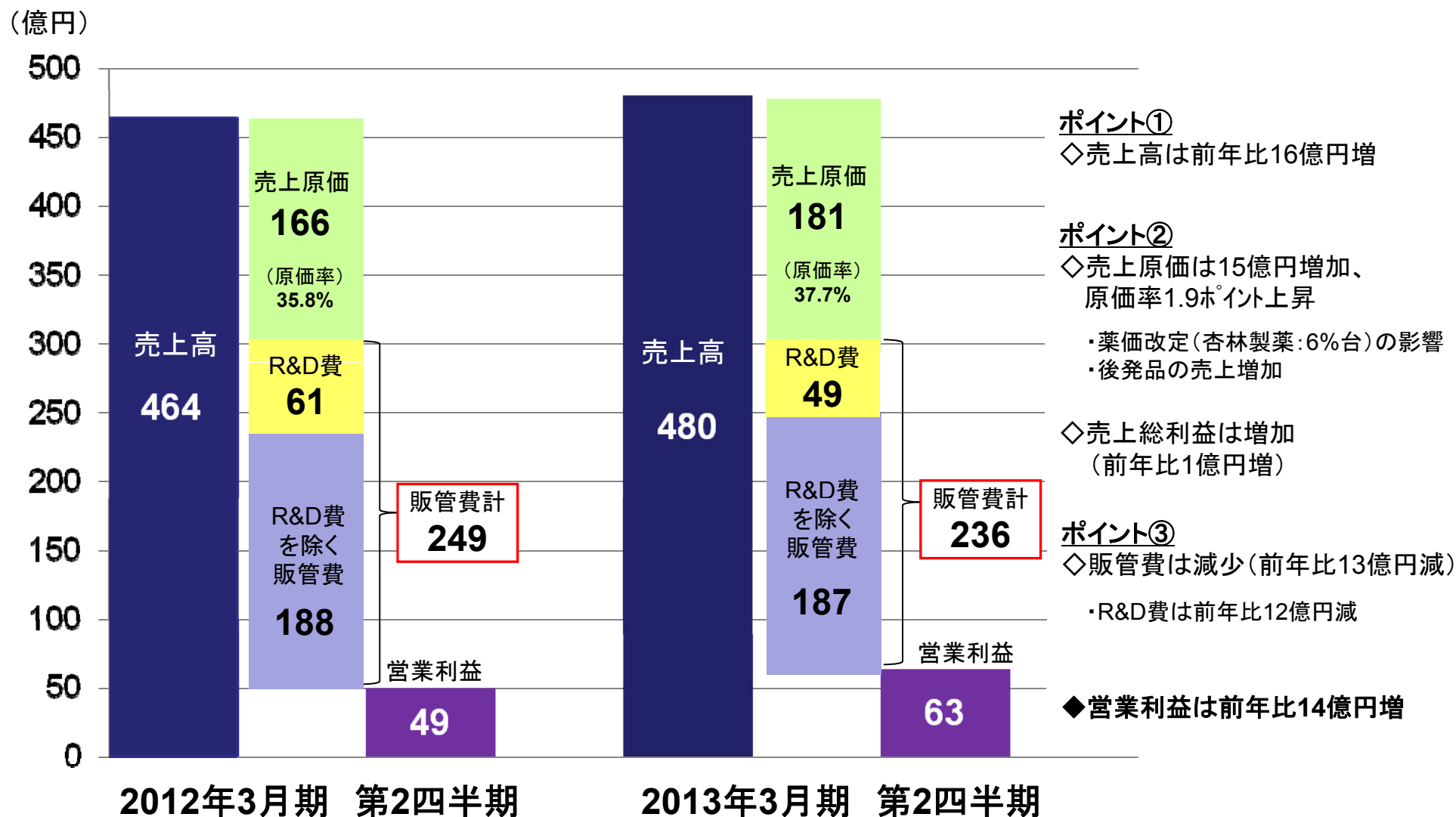
損益の概要(連結)

単位:億円	12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
売上高	464	480	+16	3.4%増	+3
売上原価	166	181	+15	8.9%増	—
販売費及び一般管理費	249	236	-13	5.2%減	—
R&D費	61	49	-12	19.5%減	-7
R&D費を除く販管費	188	187	-1	0.5%減	—
営業利益	49	63	+14	27.9%増	+7
経常利益	53	66	+13	25.8%増	+6
四半期純利益	34	43	+9	28.0%増	+4

《差異のポイント》

	対前年	増減のポイント	対予想	増減のポイント
営業利益	+14	<ul style="list-style-type: none"> ・原価率は1.9ポイント上昇するも、増収により粗利は1億円増 ・R&D費の減少等(前年はペンタサ新用法Ph3により増加) 	+7	<ul style="list-style-type: none"> R&D費 ・杏林製薬: R&D費の未消化(主に期ずれ) ・キョーリンリメディオ: 共同開発による負担の減少

2013年3月期 第2四半期 業績のポイント



2013年3月期 第2四半期 主力製品の売上状況



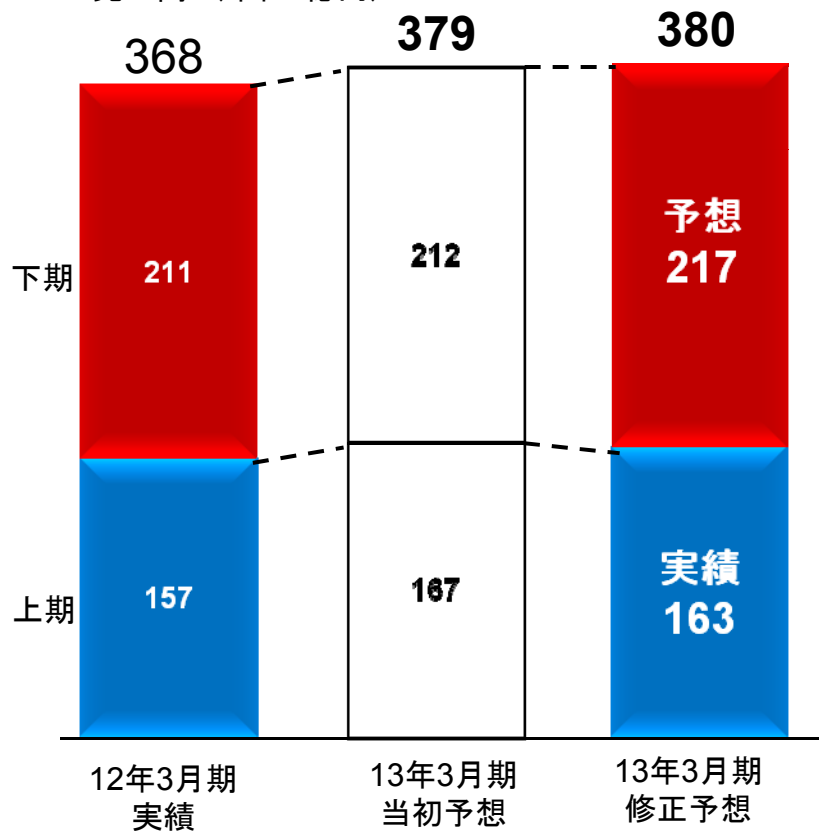
単位:億円	12年3月期 第2四半期 実績	13年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)	対予想 増減
キプレス	157	163	+6	3.7%増	-4
ムコダイン	91	83	-8	9.1%減	-7
ペンタサ	91	90	-1	1.9%減	+6
ウリトス	29	36	+7	24.4%増	+3
ガチフロキサシン(海外)	8	9	+1	9.2%増	+1

2013年3月期 第2四半期
主要製品及び後発医薬品の動向

キプレス【気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤】

単位:億円	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期予想	
					当初	修正
売上高	252	292	314	368	379	380

売上高 (単位:億円)



2012年度の取り組み

◆ロイコトリエン拮抗剤市場

572億円(11年4-9月) ⇒ 548億円(12年4-9月) 注1

◆ロイコトリエン拮抗剤市場における売上シェアの拡大

32.8%(11年4-9月) ⇒ 34.5%(12年4-9月) 注2

●アレルギー性鼻炎(通年性・季節性)のベース薬としての
ポジショニング確立と新規処方獲得の拡大

●成人、小児喘息患者さんへの更なる処方促進

細粒からチュアブル錠5mg、さらに錠剤10mgへ

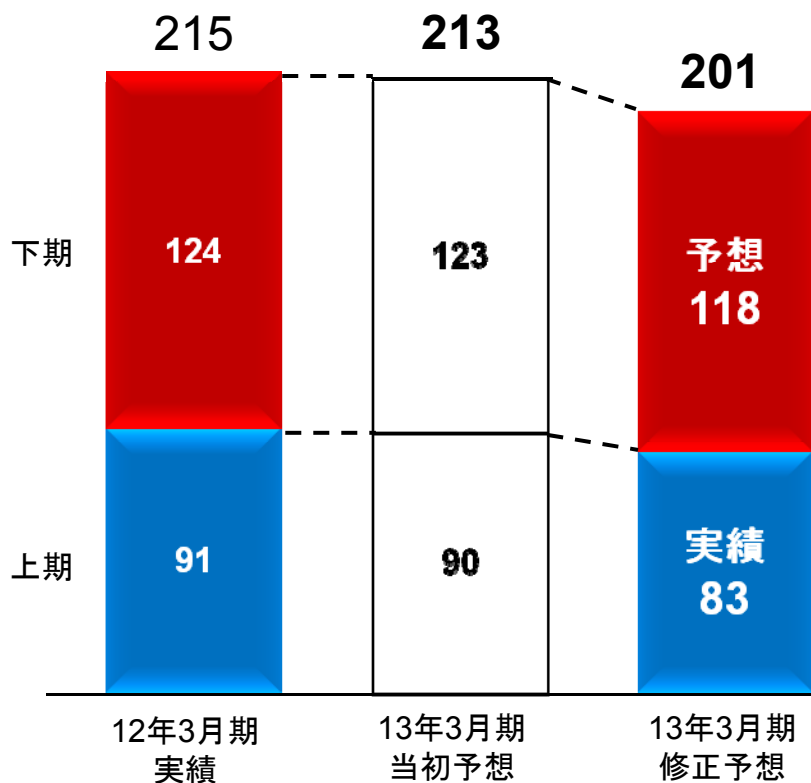
注1,2 (出典: Copyright 2012 IMS ジャパン(株) IMS-JPMをもとに作成 無断転載禁止)

※薬価改定率7.9%

ムコダイン【気道粘液修復・粘膜正常化剤】

単位:億円	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期予想	
					当初	修正
売上高	206	209	214	215	213	201

売上高(単位:億円)



2012年度の取り組み

◆去痰剤市場における売上シェアの維持・拡大

47.5%(11年4-9月) ⇒ 45.8%(12年4-9月) 注1

- 「DS50%」の普及の促進
全ての年齢層での処方
- エビデンスデータ活用による慢性疾患での処方拡大
気管支喘息(本年9月学会発表:喘息における急性増悪抑制効果)
慢性気管支炎、慢性副鼻腔炎

注1(出典:Copyright 2012 IMS ジャパン(株) IMS-JPMをもとに作成 無断転載禁止)

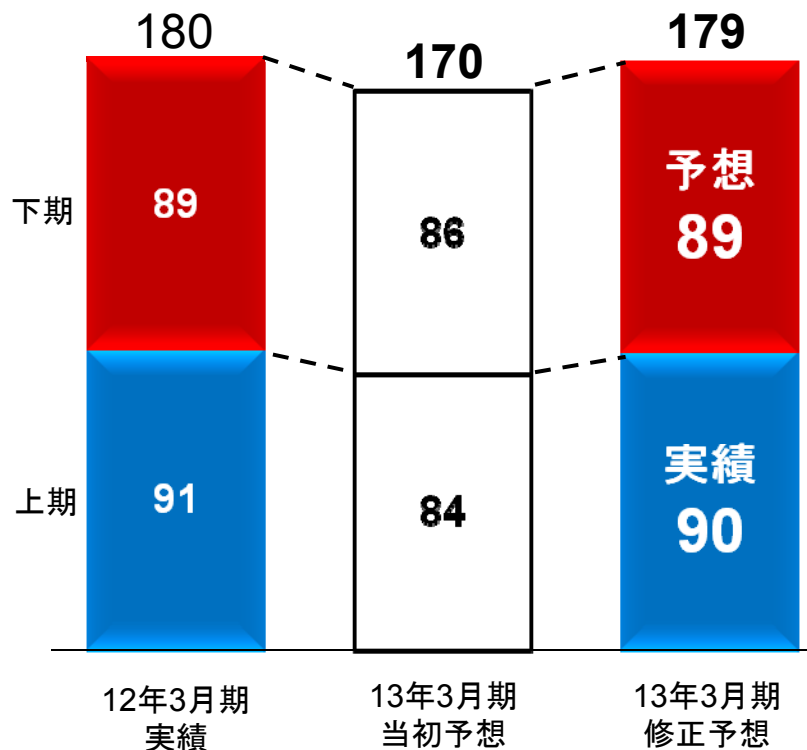
※薬価改定率6.4%

ペンタサ 【潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤】

単位:億円	09年3月期(注)	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期予想	
					当初	修正
売上高	157	194	201	180	170	179

(注)2008年9月までは日清キョーリン製薬と併売

売上高(単位:億円)



2012年度の取り組み

- ◆市場(メサラジン製剤等) : 約8%拡大
155億円(11年4-9月) ⇒ 167億円(12年4-9月) 注1
- ◆ペンタサ売上シェア
64.5%(11年4-9月) ⇒ 58.1%(12年4-9月) 注2
 - UCでの基準処方の定着化(活動期の4g処方)
 - 新用法及び新剤形の承認取得
 - ・UC寛解期 1日1回投与 : 8月24日 承認取得済み
 - ・新剤型(坐薬) : 8月申請済み

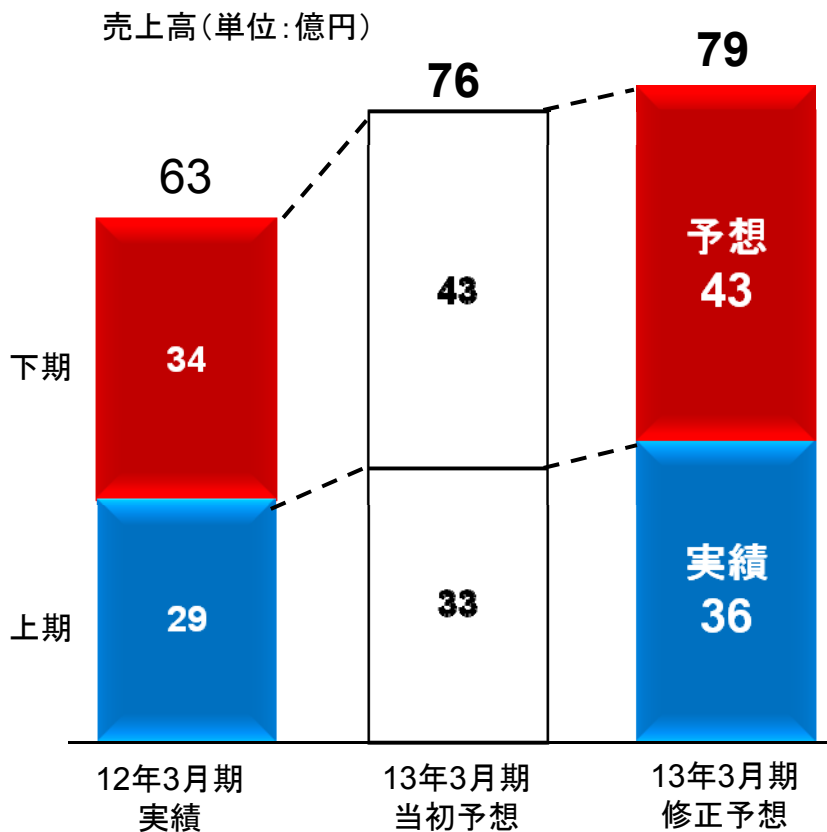
注1,2 (出典: Copyright 2012 IMS ジャパン(株) IMS-JPMをもとに作成 無断転載禁止)

※薬価改定率5.5%

【UC:潰瘍性大腸炎の略】

ウリトス【過活動膀胱治療剤】

単位:億円	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期予想	
					当初	修正
売上高	20	37	51	63	76	79



2012年度の取り組み

◆OAB市場：約7%拡大

313億円(11年4-9月) ⇒ 335億円(12年4-9月) 注1

●潜在市場の掘り起こし

潜在患者数約900万人 / 受診率約28% (2011年度)

◆OAB市場でのウリトス売上シェアの拡大

10.3%(11年4-9月) ⇒ 11.6%(12年4-9月) 注2

(参考)イミダフェナシンの売上シェア

20.7%(11年4-9月) ⇒ 22.0%(12年4-9月) 注3

●製品の差別化によるファーストチョイスでの処方化、及び採用軒数の拡大

注1,2,3 (出典: Copyright 2012 IMS ジャパン(株) IMS-JPMをもとに作成 無断転載禁止)

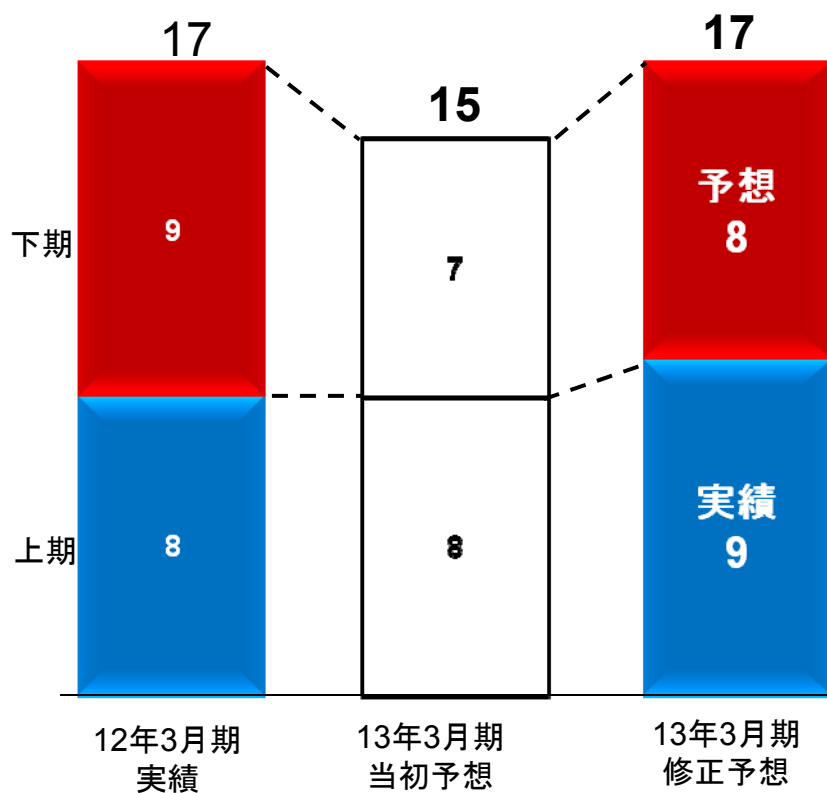
※薬価改定率0.5%

【OAB: 過活動膀胱の略】

ガチフロキサシン 【抗菌点眼剤(海外)】

単位:億円	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期予想	
					当初	修正
売上高	25	22	13	17	15	17

売上高(単位:億円)

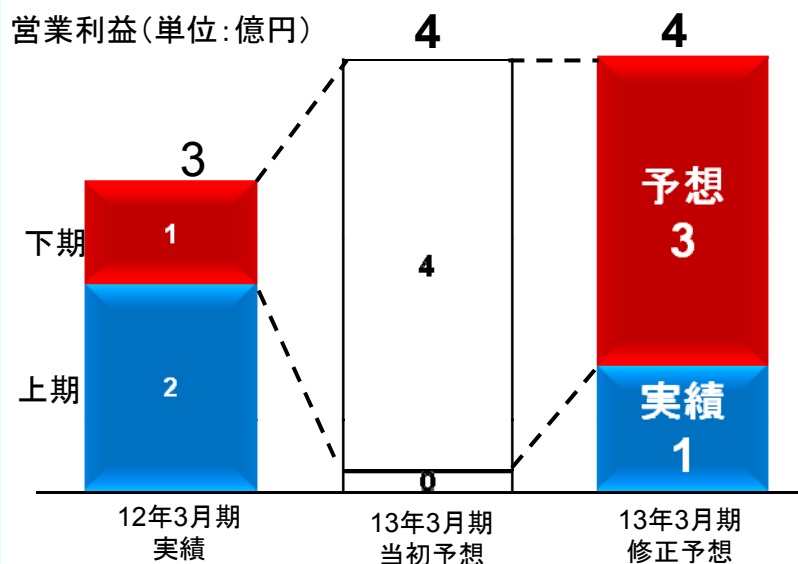
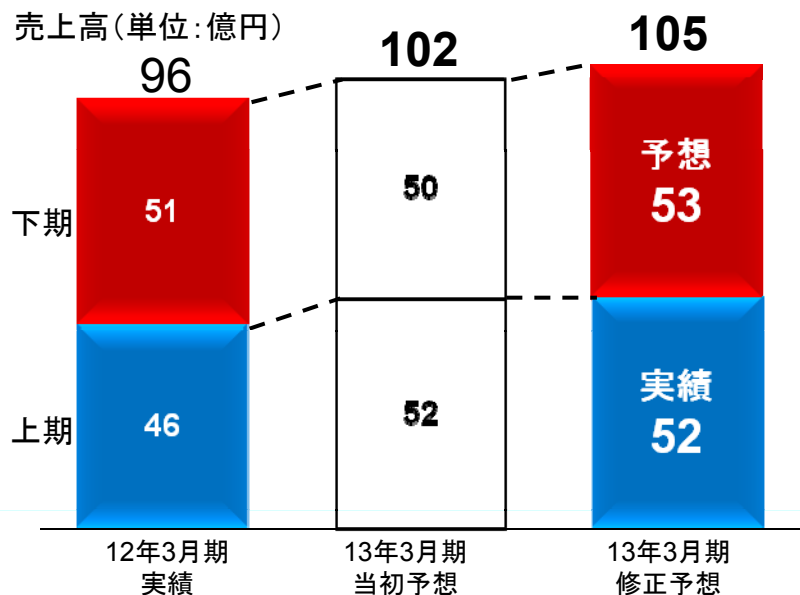


2012年度の取り組み

- ガチフロキサシン点眼液 海外の状況(アラガン社)
ザイマー及びザイマキシド(高濃度製剤)の現地売上

<上期実績> $\frac{2011年}{\$49MM} \Rightarrow \frac{2012年}{\$44MM}$

【後発医薬品事業】キョーリン リメディオの状況



2012年度の取り組み

国内外アライアンスの着実な進捗

- ・自社開発及び受託の推進

●重点品の売上拡大

- ・アムロジピン、ドネペジル等

●大型追補品の上市と目標の完達

- 【前回追補品】入眠剤、高血圧治療剤
- 【12月追補予定品】抗アレルギー薬等

●原価率の低減


- ・自社開発品の確実な承認取得と上市(受託の推進)
- ・高利益製品の売上増加による構成比率の是正
- ・主原料の購入価格の低減を目指す


●共同開発の推進

- ・自社主導の開発活動による費用の負担減と受託の推進


















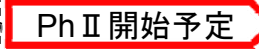
研究開発パイプラインの状況

開発パイプライン:2012年度の取り組み

 2012年上期 進展したパイプライン

 2012年下期の進捗予定

※赤色文字は変更内容

	製品名・開発コード	Ph I	Ph II	Ph III	申請	承認・上市
呼吸器	KRP-108				 申請 9月	
	KRP-AB1102		 Ph II 実施中	 Ph III 開始 9月		
	KRP-AB1102F		 Ph II 開始 5月			
耳鼻科	KRP-209		 Ph II 実施中			
感染症	KRP-AM1977X	 Ph I 実施中				
	KRP-AM1977Y	 Ph I 開始 7月				
泌尿器	導入および 共同研究の促進					
IBD	ペンタサ(UC)1日1回					 承認 8月
	ペンタサ(UC)坐剤				 申請 8月	
	KRP-203		 Ph II 開始予定			

糖尿病治療剤「KRP-104」につきましては、開発の重点領域、優先度、競合状況等を総合的に勘案し、事業戦略上の観点から開発を中止しました。

新たな生産体制の構築と ヘルスケア事業について

新たな生産体制の構築について

【重要課題】『高品質の製品を安定的に低コストで供給する生産体制の確立』

《取り組み》グループ生産体制の全体最適化、ローコストオペレーション、グローバルな展開、人材の育成

岡谷工場の老朽化

中計達成のためには
生産能力が不足

生産技術・能力の
レベルアップ、効率化

生産設備の強化
(新工場の建設など)

中期的な視点での人の強化

受託・協同生産による
稼働率向上とコスト削減

MSD滋賀工場の取得

- ・新たな設備、生產品目、技術、人材の獲得
- ・岡谷工場の生産機能を2016年を目処に移転

キョーリン製薬グループ工場株式会社について



【概要】 2012年6月15日設立、10月1日事業開始

- ・代表取締役社長 : 吉田与志也
- ・所在地 : 滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地4
- ・決算期 : 3月決算
- ・従業員 : 約150名
- ・受託製品 : ゼチーア、ペグイントロン、ナゾネックス、ブリディオオンなど約20品目

環境除菌・洗浄剤「ルビスタ」

【発売開始日】 2012年7月

【主成分】 ペルオキソ一硫酸水素カリウム

【用途】

- ・医療機関、介護施設を始めとした衛生管理の必要な場所の日常の環境表面の除菌洗浄

【特徴】

- ・幅広い微生物に有効な除菌効果に優れる
- ・EPA(米国環境保護庁)に登録され、医療施設等の環境衛生に使用される製品
- ・金属、プラスチックに影響が少なく、また塩素臭が少ないため様々な場所で使用できる



環境除菌・洗浄剤
ルビスタ
Multi-purpose disinfectant cleaner
RUBYSTA



2012年度の取り組み

- ◆感染防止対策加算1・2の施設基準がある病院(全国約3,300軒)に対してアプローチ

〔これまでの反響〕

- ・日常の衛生管理にも使え、確かな除菌効果で感染防止の緊急対応にも使えるマルチユースな製品で安心
- ・安全性が高く、また環境素材への影響やニオイがほとんどなくどこでも使える、医療の現場に適した製品

2013年3月期
連結業績予想と配当

2013年3月期 業績予想(連結)

単位:億円		2012年3月期 実績	2013年3月期 当初予想	2013年3月期 修正予想	当初予想 との差違	対前年 増減	前年同期比 (%)
売上高		1,032	1,047	1,078	+31	+46	4.4%増
	医薬品事業	1,007	1,020	1,057	+37	+50	5.1%増
	ヘルスケア事業	26	27	21	-6	-5	22.4%減
営業利益		145	179	174	-5	+29	20.3%増
経常利益		153	185	180	-5	+27	17.8%増
当期純利益		92	118	118	0	+26	27.8%増

《通期予想修正のポイント》

		対予想増減	増減のポイント
		+31	
売上高	国内新医薬品	+19	・キョーリン製薬グループ工場(受託売上)他
	海外新医薬品	+5	・ペキロン資産譲渡による収入他
	後発医薬品	+7	・キョーリンリメディオの売上を上方修正
	一般用医薬品他	+6	・OTC他の売上増等
	ヘルスケア事業	-6	・ドクタープログラムを下方修正
営業利益		-5	・R&D費が約4億円増(開発パイプラインの進展) ・キョーリン製薬グループ工場を新たに連結対象としたため

【参考資料】《対前年同期のポイント》

原価率	・前年同期比約1.5ポイント上昇
販管費及び一般管理費	・研究開発費は前年比で25億円減 (140億円⇒115億円) ・R&D費除く販管費比率は前年比約1ポイント低下

2013年3月期 主要製品及び後発品事業の売上予想

単位: 億円	2012年3月期 実績	2013年3月期 当初予想	2013年3月期 修正予想	当初予想 との差違	対前年 増減	前年同期比 (%)
キプレス	368	379	380	+1	+12	3.6%増
ムコダイン	215	213	201	-12	-14	6.1%減
ペンタサ	180	170	179	+9	-1	0.4%減
ウリトス	63	76	79	+3	+16	24.3%増
ガチフロキサシ (海外)	17	15	17	+2	0	2.5%増
後発品事業	87	95	102	+7	+15	18.1%増

株主還元について

基本方針

成長のための投資、事業継続のための投資、株主還元をバランスよく実施し、経営基盤の強化を図ります。
株主還元は配当性向30%を目処に実施します。

当期純利益の推移

	2012年3月期(実績)	2013年3月期(予想)
当期純利益	92億円	118億円

配当の推移

- ・2012年5月9日に公表しました配当予想の変更はございません。
- ・中間配当の10.00円につきましては、11月7日の取締役会で決議されました。

	2012年3月期(実績)	2013年3月期(予想)
1株当たり配当金	45.00円 (うち中間10.00円)	50.00円 (うち中間10.00円)
連結配当性向	36.4%	31.7%

参考資料

損益計算書の概要：連結①

単位：百万円	12年3月期 第2四半期		13年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	46,387	100.0%	47,954	100.0%	3.4%増	+1,567
医薬品事業	45,155	97.3%	47,034	98.1%	4.2%増	+1,879
◆新医薬品	39,098	84.3%	39,684	82.8%	1.5%増	+586
○国内	38,129	82.2%	38,661	80.6%	1.4%増	+532
○海外	968	2.1%	1,023	2.2%	5.6%増	+54
◆後発医薬品	4,097	8.8%	5,056	10.5%	23.4%増	+959
◆一般用医薬品他	1,959	4.2%	2,292	4.8%	17.0%増	+333
ヘルスケア事業 (スキンケア)	1,232	2.7%	920	1.9%	25.3%減	-311

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences, Inc.
 キョーリン リメディオ(株)
 キョーリン メディカルサプライ(株)
 ドクタープログラム(株)
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 **47,954百万円** (+1,567百万円)
 - 国内新医薬品 **38,661百万円** (+ 532百万円)

	12.3(2Q)実績		13.3(2Q)実績	(億円)
・キプレス	157	⇒	163	(+ 6)
・ムコダイン	91	⇒	83	(- 8)
・ペンタサ	91	⇒	90	(- 1)
・ウリトス	29	⇒	36	(+ 7)
 - 海外新医薬品 **1,023百万円** (+ 54百万円)
 - ・ガチフロキサシン 8 ⇒ 9 (+ 1)
 - 後発医薬品 **5,056百万円** (+ 959百万円)
 - * 後発品の使用促進策により卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増、及び受託生産による売上増
 - 一般用医薬品等 **2,292百万円** (+ 333百万円)
 - * 殺菌消毒剤「ミルトン」、その他の売上が増加
 - ヘルスケア(スキンケア) **920百万円** (- 311百万円)
 - * ドクタープログラムの売上減

損益計算書の概要：連結一②

単位：百万円	12年3月期 第2四半期		13年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	46,387	100.0%	47,954	100.0%	3.4%増	+1,567
売上原価	16,611	35.8%	18,093	37.7%	8.9%増	+1,482
売上総利益	29,776	64.2%	29,860	62.3%	0.3%増	+84
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	24,875 (6,075)	53.6% 13.1%	23,591 (4,892)	49.2% 10.2%	5.2%減 19.5%減	-1,283 -1,183
営業利益	4,900	10.6%	6,269	13.1%	27.9%増	+1,368
営業外収益	403	0.9%	401	0.8%	0.5%減	-1
営業外費用	50	0.1%	61	0.1%	21.1%増	+10
経常利益	5,253	11.3%	6,609	13.8%	25.8%増	+1,355
特別利益	3	0.0%	12	0.0%	257.9%増	+9
特別損失	16	0.0%	15	0.0%	5.1%減	0
税金等調整前 四半期純利益	5,240	11.3%	6,606	13.8%	26.1%増	+1,365
法人税・住民税 及び事業税	1,860	4.0%	2,157	4.5%	16.0%増	+297
法人税等調整額	24	0.1%	153	0.3%	518.4%増	+128
四半期純利益	3,355	7.2%	4,295	9.0%	28.0%増	+939

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比1.9ポイント上昇
(35.8%→37.7%)
* 上昇要因：薬価改定(杏林製薬6%台)の影響、
後発品の売上増加
- ◆研究開発費率：前年比2.9ポイント低下
(13.1%→10.2%)
* 61億円→49億円(約12億円減少)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比1.5ポイント低下
(40.5%→39.0%)
* 188億円→187億円(約1億円減少)
- 営業利益 **6,269百万円** (+1,368百万円)
* 営業利益率は13.1%と2.5ポイント上昇
- 四半期純利益 **4,295百万円** (+939百万円)
- 配当(第2四半期末) **10円00銭**

貸借対照表の概要：連結

単位：百万円	12年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	99,850	68.5%
現金及び預金	21,615	
受取手形及び売掛金	45,067	
有価証券	7,372	—
棚卸資産	20,738	
その他流動資産	5,056	
固定資産	45,822	31.5%
有形固定資産	14,544	
無形固定資産	846	
投資その他	30,431	—
資産合計	145,673	100.0%

流動負債	23,385	16.1%
支払手形及び買掛金	9,043	
その他流動負債	14,341	—
固定負債	4,086	2.8%
負債合計	27,471	18.9%
株主資本	117,931	81.0%
その他の包括利益累計額	269	0.2%
その他有価証券評価差額金	537	
為替換算調整勘定	−267	—
純資産合計	118,201	81.1%
負債及び純資産合計	145,673	100.0%

13年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
104,083	70.6%	+4,232
30,502		
36,148		
9,571	—	—
21,934		
5,926		
43,341	29.4%	−2,480
14,632		
747	—	—
27,961		
147,425	100.0%	+1,752

23,854	16.2%	+469
10,721		
13,133	—	—
3,369	2.3%	−717
27,224	18.5%	−247
119,608	81.1%	+1,677
592	0.4%	+322
847		
−254	—	—
120,200	81.5%	+1,999
147,425	100.0%	+1,752

<当期のポイント>

■ 流動資産：4,232百万円増

- ・現金及び預金の増加 (＋8,886百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (－8,919百万円)
- ・有価証券の増加 (＋2,199百万円)
- ・棚卸資産の増加 (＋1,195百万円)
- ・その他流動資産の増加 (＋870百万円)

■ 固定資産：2,480百万円減

- ・有形固定資産の増加 (＋88百万円)
- ・無形固定資産の減少 (－98百万円)
- ・投資その他の減少 (－2,470百万円)

■ 流動負債：469百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (＋1,678百万円)
- ・その他流動負債の減少 (－1,208百万円)

■ 固定負債：717百万円減

主な業績項目の推移：連結

単位：百万円	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	46,707 (1,500)	46,387 (968)	47,954 (1,023)
売上原価 (売上原価率)%	17,083 (36.6%)	16,611 (35.8%)	18,093 (37.7%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	25,422 (54.4%)	24,875 (53.6%)	23,591 (49.2%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	6,879 (14.7%)	6,075 (13.1%)	4,892 (10.2%)
営業利益 (営業利益率)%	4,201 (9.0%)	4,900 (10.6%)	6,269 (13.1%)
経常利益 (経常利益率)%	4,542 (9.7%)	5,253 (11.3%)	6,609 (13.8%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	2,959 (6.3%)	3,355 (7.2%)	4,295 (9.0%)
一株当たり当期利益(円)	39.59円	44.90円	57.49円
資本金	700	700	700
総資産	128,541	138,440	147,425
純資産	104,662	112,717	120,200
一株当たり純資産(円)	1,400.35円	1,508.46円	1608.74円
自己資本利益率%	2.8%	3.0%	3.6%
自己資本比率%	81.4%	81.4%	81.5%
人員(人)	2,308人	2,332人	2,346人
設備投資	633	402	1,181
減価償却費	1,163	1,122	1,119

12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
103,232 (2,059)	107,800 (2,500)	104,700 (2,000)
36,926 (35.8%)	—	—
51,842 (50.2%)	—	—
13,964 (13.5%)	11,500 (10.7%)	11,100 (10.6%)
14,464 (14.0%)	17,400 (16.1%)	17,900 (17.1%)
15,275 (14.8%)	18,000 (16.7%)	18,500 (17.7%)
9,231 (8.9%)	11,800 (10.9%)	11,800 (11.3%)
123.54円	157.93円	157.92円
700		
145,673		
118,201		
1,581.94円		
8.0%		
81.1%		
2,297人		
1,952	7,900	3,000
2,363	2,800	2,600

損益計算書の概要：杏林製薬①

<当期のポイント>

単位：百万円	12年3月期 第2四半期		13年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	41,831	100.0%	42,951	100.0%	2.7%増	+1,120
医薬品事業	41,831	100.0%	42,951	100.0%	2.7%増	+1,120
◆新医薬品	39,057	93.4%	39,636	92.3%	1.5%増	+579
○国内	38,129	91.2%	38,661	90.0%	1.4%増	+532
○海外	927	2.2%	974	2.3%	5.1%増	+46
◆後発医薬品	1,487	3.6%	1,963	4.6%	32.0%増	+475
◆一般用医薬品他	1,285	3.1%	1,351	3.1%	5.1%増	+65

		対前年	
■ 売上高	42,951百万円	(+1,120百万円)	
● 国内新医薬品	38,661百万円	(+ 532百万円)	
	12.3(2Q)実績	13.3(2Q)実績	(億円)
・キプレス	157	⇒ 163	(+ 6)
・ムコダイン	91	⇒ 83	(- 8)
・ペンタサ	91	⇒ 90	(- 1)
・ウリトス	29	⇒ 36	(+ 7)
● 海外新医薬品	974百万円	(+ 46百万円)	
・ガチフロキサシン	8	⇒ 9	(+ 1)
● 後発医薬品	1,963百万円	(+ 475百万円)	
・キョーリンリメディオ物流統合分の増加			
● 一般用医薬品他	1,351百万円	(+ 65百万円)	
・ミルトン	9	⇒ 10	(+ 1)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

単位：百万円	12年3月期 第2四半期		13年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	41,831	100.0%	42,951	100.0%	2.7%増	+1,120
売上原価	14,383	34.4%	15,360	35.8%	6.8%増	+977
売上総利益	27,447	65.6%	27,591	64.2%	0.5%増	+143
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	22,735 (5,762)	54.4% 13.8%	21,680 (4,681)	50.5% 10.9%	4.6%減 18.8%減	-1,055 -1,081
営業利益	4,712	11.3%	5,910	13.8%	25.4%増	+1,198
営業外収益	599	1.4%	588	1.4%	1.8%減	-10
営業外費用	29	0.1%	28	0.1%	1.0%減	0
経常利益	5,282	12.6%	6,470	15.1%	22.5%増	+1,188
特別利益	3	0.0%	10	0.0%	194.5%増	+6
特別損失	7	0.0%	8	0.0%	4.3%増	0
税引前四半期純利益	5,278	12.6%	6,473	15.1%	22.6%増	+1,194
法人税・住民税 及び事業税	1,830	4.4%	2,109	4.9%	15.3%増	+279
法人税等調整額	33	0.1%	122	0.3%	265.6%増	+89
四半期純利益	3,414	8.2%	4,240	9.9%	24.2%増	+826

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 1.4ポイント上昇
(34.4%→35.8%)
* 上昇要因：薬価改定(杏林製薬6%台)の影響、
キョーリンリメディアの物流統合分の増加
- ◆研究開発費率：前年比 2.9ポイント低下
(13.8%→10.9%)
* 58億円→47億円(約11億円減少)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比1.0ポイント低下
(40.6%→39.6%)
- 営業利益 **5,910百万円** (+1,198百万円)
* 営業利益率は13.8%と2.5ポイント上昇
- 四半期純利益 **4,240百万円** (+826百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

単位：百万円	12年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	80,542	66.0%
現金及び預金	9,444	
売掛金	42,046	
有価証券	7,309	—
棚卸資産	17,877	
その他流動資産	3,863	
固定資産	41,443	34.0%
有形固定資産	11,497	
無形固定資産	388	—
投資その他	29,558	
資産合計	121,985	100.0%

流動負債	16,526	13.5%
支払手形及び買掛金	6,609	
その他流動負債	9,916	—
固定負債	3,281	2.7%
負債合計	19,807	16.2%
株主資本	101,652	83.3%
評価・換算差額等	525	0.4%
純資産合計	102,177	83.8%
負債及び純資産合計	121,985	100.0%

13年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
86,086	69.0%	+5,544
19,134		
33,363		
9,508	—	—
19,115		
4,964		
38,702	31.0%	-2,740
11,458		
310	—	—
26,933		
124,789	100.0%	+2,803

17,861	14.3%	+1,335
7,583		
10,278	—	—
2,799	2.3%	-482
20,661	16.6%	+853
103,293	82.8%	+1,641
834	0.7%	+309
104,128	83.4%	+1,950
124,789	100.0%	+2,803

<当期のポイント>

■流動資産：5,544百万円増

- ・現金及び預金の増加 (＋9,689百万円)
- ・売掛金の減少 (－8,683百万円)
- ・有価証券の増加 (＋2,199百万円)
- ・棚卸資産の増加 (＋1,237百万円)

■固定資産：2,740百万円減

- ・有形固定資産の減少 (－38百万円)
- ・無形固定資産の減少 (－77百万円)
- ・投資その他の減少 (－2,624百万円)

■流動負債：1,335百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (＋973百万円)
- ・その他流動負債の増加 (＋362百万円)

■固定負債：482百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬

単位: 百万円	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	40,759 (1,460)	41,831 (927)	42,951 (974)
売上原価 (売上原価率)%	13,521 (33.2%)	14,383 (34.4%)	15,360 (35.8%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	23,359 (57.3%)	22,735 (54.4%)	21,680 (50.5%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	6,496 (15.9%)	5,762 (13.8%)	4,681 (10.9%)
営業利益 (営業利益率)%	3,878 (9.5%)	4,712 (11.3%)	5,910 (13.8%)
経常利益 (経常利益率)%	4,443 (10.9%)	5,282 (12.6%)	6,470 (15.1%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	2,908 (7.1%)	3,414 (8.2%)	4,240 (9.9%)
一株当たり当期利益(円)	39.17円	45.97円	57.10円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	109,313	115,008	124,789
純資産	93,044	96,674	104,128
一株当たり純資産(円)	1,252.82円	1,301.70円	1,402.06円
自己資本利益率%	3.1%	3.6%	4.1%
自己資本比率%	85.1%	84.1%	83.4%
人員(人)	1,811人	1,826人	1,832人
設備投資	300	313	716
減価償却費	932	841	828

12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
93,697 (1,904)	96,400 (2,300)	94,600 (1,800)
32,046 (34.2%)	—	—
47,679 (50.9%)	—	—
13,472 (14.4%)	11,000 (11.4%)	10,300 (10.9%)
13,971 (14.9%)	17,100 (17.7%)	17,400 (18.4%)
15,126 (16.1%)	18,100 (18.8%)	18,500 (19.6%)
9,274 (9.9%)	11,800 (12.2%)	12,000 (12.7%)
124.88円		
4,317		
121,985		
102,177		
1,375.79円		
9.4%		
83.8%		
1,798人		
1,425	2,200	2,200
1,790	1,800	1,900

2013年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

単位:百万円	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	前年差額	前年比	12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
売上高	46,387	47,954	+1,567	3.4%増	103,232	107,800	104,700
医薬品事業	45,155	47,034	+1,879	4.2%増	100,654	105,700	102,000
◆新医薬品	39,098	39,684	+586	1.5%増	88,011	91,100	88,700
○国内	38,129	38,661	+532	1.4%増	85,995	88,600	86,700
○海外	968	1,023	+54	5.6%増	2,015	2,500	2,000
◆後発医薬品	4,097	5,056	+959	23.4%増	8,656	10,200	9,500
◆一般用医薬品他	1,959	2,292	+333	17.0%増	3,987	4,400	3,800
ヘルスケア事業 (スキンケア)	1,232	920	-311	25.3%減	2,577	2,100	2,700
営業利益	4,900	6,269	+1,368	27.9%増	14,464	17,400	17,900
経常利益	5,253	6,609	+1,355	25.8%増	15,275	18,000	18,500
当期純利益	3,355	4,295	+939	28.0%増	9,231	11,800	11,800

主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
売上高	418	430
営業利益	47	59
当期純利益	34	42

12年3月期	13年3月期 (修正予想)
937	964
140	171
93	118

13年3月期 (当初予想)
946
174
120

キョーリン リメディオ	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
売上高	46	52
営業利益	2	1
当期純利益	2	0

12年3月期	13年3月期 (修正予想)
96	105
3	3
3	5

13年3月期 (当初予想)
102
4
2

ドクタープログラム	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
売上高	12	9
営業利益	0	-1
当期純利益	0	-2

12年3月期	13年3月期 (修正予想)
26	21
1	-2
0	-3

13年3月期 (当初予想)
27
1
0

2013年3月期 第2四半期 主要製品売上の状況

単位: 億円		10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期		12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
					実績	前 同 比			
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	127	141	157	163	3.7%増	368	380	379
	ムコダイン (去痰剤)	93	94	91	83	9.1%減	215	201	213
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	97	99	91	90	1.9%減	180	179	170
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	16	24	29	36	24.4%増	63	79	76
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	23	20	18	15	15.5%減	34	30	30
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	11	13	8	9	9.2%増	17	17	15
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	9	9	10	8.8%増	19	20	20

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）



単位：百万円	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	増減比
研究開発費	5,670	6,879	6,075	4,892	19.5%減
設備投資	709	633	402	1,181	193.8%増
減価償却費	1,362	1,163	1,122	1,119	0.2%減

12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
13,964	11,500	11,100
1,952	7,900	3,000
2,363	2,800	2,600

設備投資の詳細

単位：億円	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期
工場設備	1	4
管理・販売設備	1	5
研究用設備	2	2

12年3月期	13年3月期 (修正予想)	13年3月期 (当初予想)
11	55	13
4	19	11
4	5	6

2013年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

単位: 億円	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	480	+16	63	+14
医薬品事業計	470	+18	63	+15
◆新医薬品	397	+6		
○国内	387	+6		
○海外	10	0		
◆後発医薬品	51	+10		
◆一般用医薬品他	23	+3		
ヘルスケア事業(スキンケア)計	9	-3	-1	-1
調整額	-	-	1	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

開発品一覧①(2012年11月7日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2013年3月期 第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
承認※ (12年8月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイ フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
申請※ (12年8月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイ フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発 PhⅢ終了(12年2月)
申請※ (12年9月)	(アメリカ) スカイファーマ :申請(09年3月) (欧州) ムンディファーマ :上市(12年9月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	吸入ステロイド薬(ICS:フルチカゾン)及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社とライセンス契約 (08年4月) 国内PhⅢ終了(12年3月)
PhⅢ※ (12年9月)	(欧州) アルミラール社 :上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 :承認(12年7月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器:Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)

開発品一覧②(2012年11月7日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2013年3月期 第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (12年5月)	(欧州) アルミラール社:Ph III (アメリカ) フォレスト社:Ph III	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

【その他の事項】

・糖尿病治療剤「KRP - 104」につきましては、開発の重点領域、優先度、競合状況等を総合的に勘案し、事業戦略上の観点から開発を中止しました ※

■将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。